

# バイオリソースが秘める可能性と課題

—当センター3年間の足跡とニーズドリブン型バイオバンク活動について—

2019年4月、ヒト検体と臨床情報データベースを結合し、神戸大学内外の研究者や開発企業が活用できる「クリニカルバイオバンク」として「神戸大学医学部附属病院バイオリソースセンター」が設置されました。当センターは「一般社団法人BioResource Innovation Hub in Kobe (BRIH-K)」との連携のもと、研究者のニーズに沿ったバイオリソース利活用を進めております。この講演会では当センターの取組みと実績、そして課題を大学及び企業双方の目線でご紹介いたします。

**日時：2023年5月15日（月）18:00～20:00**

**会場：シスメックスホール  
（神戸大学医学部附属病院（大倉山））**

【開会ご挨拶】18:00～

神戸大学長	藤澤 正人
神戸大学大学院医学研究科長	村上 卓道
神戸市 医療・産業本部 医療産業都市部長	森 浩三

【活動紹介】18:20～

- ◆神戸大学医学部附属病院バイオリソースセンター長 松岡 広  
「バイオリソースセンターの活動について（概要と実績）」
- ◆BioResource Innovation Hub in Kobe 代表理事 辻本 研二  
「BioResource Innovation Hub in Kobe (BRIH-K)の活動と実績」

【ご講演】18:50～（各ご講演後に質疑応答を行います）

- ◆神戸大学医学部小児科学分野 教授 野津 寛大  
「小児疾患研究における課題とバイオリソースセンターとの連携」
- ◆神戸大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野 教授 丹生 健一  
「神戸から世界へ発信—バイオリソースセンター/ICCRCとの連携—」
- ◆シスメックス株式会社 中央研究所長 佐藤 利幸  
「臨床検査企業の研究開発における検体の価値」
- ◆小野薬品工業株式会社 トランスレーショナル研究部 第一グループ グループヘッド 北島 貴司  
「製薬企業の創薬研究における患者検体の活用」

【閉会ご挨拶】19:50～

神戸大学医学部附属病院長	眞庭 謙昌
--------------	-------